

# モミジチャルメルソウ

*Mitella acerina* Makino  
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

局地的な分布をする種で、京都府、福井県、滋賀県の三県境を中心とする極めて狭い範囲からのみ知られている。個体数も少ない。

## 分 布

京都府、福井県、滋賀県の三県境を中心とする極めて狭い範囲に分布。県内では嶺南地方で確認されている。

## 種の特徴

山地の溪流沿いに生える多年生草本。葉には粗い鋸歯があり、基部は心形で葉身長4～10cm。葉の裏面は無毛で、表面にも長い刺毛が散生するのみである。匍匐茎を出し、植物は横に這うように広がる。花期は4～6月。春先に根元から花茎をのばし、花を密につける。

## 生育を脅かす要因

局地的に分布し生育環境が脆弱である。林道工事、森林伐採等による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○											

# エチゼンダイモンジソウ

*Saxifraga acerifolia* Wakab. et Satomi  
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

福井県と石川県のみで確認されている種で、県内で現在知られている生育地は1山域のみで、生育個体数も少ない。

## 分 布

本州（福井県・石川県）に分布する。県内では嶺北地方で確認されている。

## 種の特徴

湿った岩上の斜面に生える多年生草本。草丈20～40cm。根茎は横に這い、葉は根元から出て、葉柄は長く、腎円形で5～7に深く裂ける。花弁は白色で披針形、上の3片は短く、下の2片は長い。ダイモンジソウに似ているが、葉が深く裂けることや花期が異なる。

## 生育を脅かす要因

局地的に分布し生育環境が脆弱である。林道工事、森林伐採等による生育環境の悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						

# シコタンソウ

*Saxifraga bronchialis* L. subsp. *funstonii* (Small) Hultén var. *rebunshirensis* (Engl. et Irmsch.) H.Hara  
ユキノシタ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では1山域で確認されているのみで生育域は狭く、個体数も少ない。

## 分 布

北海道、本州（中部地方以北）に分布する。県内では奥越地方で確認されている。

## 種の特徴

高山の岩礫地、砂礫地、岩上に生育する。根茎は細く、よく分枝し、茎は暗紅紫色で多少肉質の葉を密に互生する。葉はさじ状披針形～線状披針形で、縁に刺状毛を列生し、先端は分裂しない。花期は7～8月。花茎を伸ばし、先端に集散花序をつける。

## 生育を脅かす要因

生育環境は岩礫地、砂礫地、岩上等に限られ、生育基盤は脆弱である。また温暖化による影響が懸念される。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	